

# 令和5年度 第11回 辻堂まちづくり会議 次第

日 時 : 2024年2月22日(木) 13:30~15:30

会 場 : 辻堂市民センター ホール

## 第1部

- 1 藤沢市都市マスタープランについて(市都市計画課)
- 2 藤沢厚木線(辻堂工区)の整備について(市道路河川総務課)

## 第2部

- 1 前回会議議事録の確認について

## 2 議 題

### (1) 部会等報告について

- ア 暮らし安心・安全部会(2/8)
- イ 辻堂交流部会(2/8)
- ウ 福祉部会(2/15)
- エ 広報委員会(2/15)

### (2) 全体集会の振り返り

### (3) 辻堂まちづくり会議だよりについて

### (4) 公募委員(再任)の推薦について

## 3 その他

## 4 今後の予定

- 駅前掲示板 3月1日(金) 暮らし安心・安全部会2人
- 辻堂朝市 3月14日、28日(木) 交流部会3人
- 防災講演会 3月2日(土) 14時から
- ヤングケアラー研修会 3月3日(日) 14時から
- 復興まちづくりイメージトレーニング 3月16日(土) 9時30分から
- 辻堂交流部会 3月14日(木) 9時30分から
- 暮らし安心・安全部会 3月14日(木) 13時30分から
- 広報委員会 3月21日(木) 9時30分から
- 福祉部会 3月21日(木) 13時30分から
- 第12回辻堂まちづくり会議 3月28日(木) 13時30分から

以 上

令和5年度 第10回 辻堂まちづくり会議 議事録

日時	2024年1月25日(木) 13:30 ~ 15:25			
場所	辻堂市民センター ホール			
出席者	<input checked="" type="checkbox"/> 尾崎会長 <input checked="" type="checkbox"/> 秋山副会長 <input checked="" type="checkbox"/> 齋間委員 <input type="checkbox"/> 橋本委員 <input checked="" type="checkbox"/> 鷹野委員 <input checked="" type="checkbox"/> 片桐委員 <input checked="" type="checkbox"/> 高野委員 <input checked="" type="checkbox"/> 吉田(秀)委員 <input checked="" type="checkbox"/> 堀川委員 <input type="checkbox"/> 芳山委員	<input checked="" type="checkbox"/> 小川副会長 <input checked="" type="checkbox"/> 赤塚委員 <input checked="" type="checkbox"/> 和田委員 <input checked="" type="checkbox"/> 近藤委員 <input checked="" type="checkbox"/> 大橋委員 <input checked="" type="checkbox"/> 松尾委員 <input checked="" type="checkbox"/> 村上委員 <input checked="" type="checkbox"/> 久保田委員 <input checked="" type="checkbox"/> 千葉委員	<input checked="" type="checkbox"/> 伊藤副会長 <input checked="" type="checkbox"/> 山田委員 <input checked="" type="checkbox"/> 吉田(紀)委員 <input checked="" type="checkbox"/> 秋葉委員 <input type="checkbox"/> 中野委員 <input type="checkbox"/> 黒川委員 <input checked="" type="checkbox"/> 山下委員 <input checked="" type="checkbox"/> 池本委員 <input checked="" type="checkbox"/> 鶴田委員	
事務局	<input checked="" type="checkbox"/> 横田センター長 <input checked="" type="checkbox"/> 片山	<input checked="" type="checkbox"/> 中丸主幹 <input checked="" type="checkbox"/> 古河	<input checked="" type="checkbox"/> 松本 <input checked="" type="checkbox"/> 狩野尾	<input checked="" type="checkbox"/> 新倉 <input type="checkbox"/> 宮木
議題等	1 前回会議議事録の確認について 2 議題 (1) 部会等報告について ア 暮らし安心・安全部会 (1/11) イ 辻堂交流部会 (1/11) ウ 福祉部会 (1/18) エ 広報委員会 (1/18) (2) 全体集会について (2/4(日)開催) 3 その他 (1) 令和6年度まちづくり会議委員改選について 4 今後の予定			
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辻堂地区復興まちづくりイメージトレーニング</li> <li>・令和5年度「藤沢市未来共創会議」の開催について</li> <li>・令和5年度委員名簿</li> <li>・令和5年度第9回辻堂まちづくり会議議事録</li> <li>・令和5年度第10回暮らし安心・安全部会議事録</li> <li>・子ども見守り活動 アンケート調査結果 一覧表</li> <li>・令和5年度第10回辻堂交流部会議事録</li> <li>・令和5年度第10回福祉部会議事録</li> <li>・研修会「ヤングケアラーについて考える」チラシ</li> <li>・令和5年度第10回広報委員会議事録</li> <li>・まちづくり会議だよりレイアウト案</li> <li>・令和5年度 辻堂まちづくり会議全体集会 実施要領</li> <li>・令和5年度郷土づくり推進会議地区交流会議事録 テーマ「地域活性化に向けた新たな取り組みについて」(若者が積極的に参加できる仕組みづくり)</li> </ul>			

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度辻堂地区防災講演会「誰一人取り残さない防災を目指して」チラシ</li> <li>・辻堂まちづくり会議委員募集チラシ</li> <li>・湘南工科大学 産学官連携による地域デザインの取組（大学生による提案・研究発表のお知らせ）チラシ</li> </ul>
傍聴者	0人

**【議事録】**

(進行 中丸主幹)

○開会前確認

- (1) 会議の成立に関する報告
- (2) 資料の確認
- (3) 会議進行の確認
- (4) 傍聴の取扱いについて

**第1部**

**1 復興まちづくりイメージトレーニングについて（市都市計画課）**

市都市計画課（堀田、板垣）から、資料のとおり説明があった。

開催日 3月16日（土）9時30分～

場 所 辻堂市民センター 2階 第2談話室

対 象 辻堂まちづくり会議委員

**【意見等】**

- ・災害時福祉ボランティアに登録しているが、防災士の資格取得に補助金はないのか。（千葉委員）  
→都市計画課ではなく、防災部局が担当だと思われるので、事務局から確認をとる。（事務局）
- ・資料中の防災対策について防潮堤の整備という記載がある。関東大震災時には鎌倉等は大きな被害を受けたが、藤沢市に関しては地域によって津波被害はまちまちだった。こうした状況を藤沢市では把握した上での対策記載なのか。（大橋委員）  
→資料の当該部分は具体的な実施・予定施策ではなく、一例として記載している。（都市計画課）
- ・3/16に参加可能な方は、2/15 までに出席の連絡を事務局までいただきたい。（都市計画課）

**2 藤沢市未来共創セッションについて（市企画政策課）**

市企画政策課（東、植月）から、資料のとおり説明があった。

**【意見等】**

- ・大学生ということだが、中高生は該当しないのか。（吉田紀委員）  
→高校生くらいであれば内容的に参加可能かと思う。過去のオンライン開催では、高校生が参加していたこともあった。（企画政策課）
- ・コンサルに頼んでこのイベント実施で出た成果は今後どのように生かしていくのか。また、この会議で出た意見は、総合指針マスタープランなどの各種計画についてどのように活かしていくつもりか。（小川副会長）
- ・（関連）5地区のみの開催ということだが、ここで得た成果を藤沢市全体でどのように活かしていくのか。（山田委員）  
→総合計画から総合指針に変わっている。総合指針は、資料冒頭にあるようにおおむね20年後のビジョンを示し、そこに向けてどう進んでいくかをまとめたもの。4年の間に必ずやることを重点化事業として位置づけており、100本程度の事業がここに

紐付いている。未来共創会議を全地区で実施したいが、時間が足りないので、都市拠点5つのうち3つで開催した。全市という範囲では、オンラインによりR4、5年度で実施している。(企画政策課)

- ・藤沢市全体で5地区に分かれているという事だが、辻堂と明治では全く状況が違う。特に防災。これらを一緒に考えたところで、まとまらないのではないか。(松尾委員)  
→地区ごとの特色はあると思うが、生活圏としては一緒。地域ごとの意見は分けて整理したいと考えている。(企画政策課)
- ・総合指針にまちづくり会議も入っているとのことだが、藤沢市の20年後なのか、辻堂の20年後なのかによって、想定する議論が分かれてくると思う。(吉田秀委員)  
→生活圏で考えるとJ.Rを挟んで隣接していることから、そうした点を踏まえたまちづくりをこの会議では考えていきたいと思っている。(企画政策課)
- ・メンバーもそう多くなく時間も十分ではないと思う。十分な意見聴取が出来るとは思えないが。(齋間委員)  
→我々もこれだけで充分だとは考えていない。ここでいただいた意見は、全体に共有できるように考えている。どういった問いかけをすれば皆さんに伝わるか、どういった人に声をかければ話が進んでいくか、などの意見をいただきたい。(企画政策課)

## 第2部

### 1 前回会議議事録の確認について

資料のとおり

### 2 議題

#### (1) 部会等報告について

##### ア 暮らし安心・安全部会

山田部会長から資料のとおり説明があった。

##### 【意見等】

- ・出席者に全体集会にも出てもらえたら良い意見がもらえるのではないか。(千葉委員)
- ・どのように申し込めばよいか。また、市や警察の職員は来ないのか。  
→市や警察は来ない。学校関係の意見・課題を中心に意見交換していく。(山田部会長)  
→会長副会長、各部会の出席者を確認したい。(事務局)  
→会長副会長 尾崎、秋山、伊藤  
→交流部会 吉田秀  
→福祉部会 松尾
- ・令和5年度辻堂地区防災講演会「誰一人取り残さない防災を目指して」を実施する。一般参加は90人、主催共催は別途参加枠を取っている。オンラインでの開催も合わせて行う。参加者の確認は2月全体会議で行う予定である。(小川副会長、事務局)

##### イ 交流部会

秋山部会長から資料のとおり説明があった。

##### 【意見等】

- ・みんなで美化キャンペーンについて、子どもたちも参加してほしいとのことだが、どのような工夫があるか。(尾崎会長)  
→適切な日程と学校への声掛けの強化などを考えている。(秋山副会長)
- ・湘南ニコニコロードの名称は、使う人達には認知されてきたと思う。みんなが使える方向性の整理が出来たらと思う。(尾崎会長)
- ・高校生が参加できるような仕組みがあると良い。(尾崎会長)

- ・千葉委員が作成してくれた紙芝居を、学校で読んでもらうなどの活用もあるとよい。  
(尾崎会長)  
→意見を参考にして検討する。(秋山副会長)
- ・辻堂朝市について、2月8日(木)は交流スペースが使えないので通路で行う。(事務局)

#### ウ 福祉部会

池本部長から資料のとおり説明があった。

##### 【意見等】

- ・講演会についてだが、来年度につなげて実施してもらいたい。(秋山副会長)
- ・テーマを議論していくだけでも充分価値があるので、顕在化していくことが大事。(尾崎会長)

#### エ 広報委員会

久保田委員長から資料のとおり説明があった。

- ・学生たちの記事を読んで、コメントを入力してほしい(尾崎会長)
- ・啓発物品として、辻堂プライドの缶バッジの作成作業を実施する。(久保田委員)
- ・まちづくり会議だよりについて、事業協力者へのお礼のスペースを設けることにした点を補足する。(秋山副会長)

#### (2) 全体集会について (2/4 (日) 開催)

資料のとおり、小川副会長から説明があった。

- ・委員の出欠確認とグループ分けについて  
当日欠席者 和田、堀川、池本、高野、中野(追記)、芳山(追記)、片桐(追記)  
鶴田(7割程度参加可)

##### <希望テーマ>

道が狭い	千葉(書記)、秋葉
渋滞	村上(書記)、鶴田
歩行者・自転車マナー	松尾(書記)、山下(書記)、近藤(書記)、大橋(書記) 吉田紀、山田、赤塚、斎間、鷹野、橋本(追記)、黒川(追記)

##### 【意見等】

- ・パネル説明はホールでたくさんの人がしゃべることになり、うるさくて説明が聞こえない事態が想定される。前年度以前の時間配分も、まちづくり会議の取組の説明時間が全体の半分もあり必要性に疑問を感じる。(松尾委員)  
→パネル説明の時間は、2部が始まるまで自由に見てもらえる時間にする。時間は昨年度比で半分程度に短縮してある。(小川副会長)
- ・12時集合は早いと思う。(近藤委員)  
→机椅子を並べる作業だけでなく、パネルの設置と展示物の貼り出し作業があるため、この集合時間に行っている。(事務局)
- ・まつりのアンケートの活かし方は理想だと思う。公民館まつりの駅前掲示板宣伝の際、アンケートBOX「つじにゃん」を作成している。これをパネル展示してほしい。また、社会貢献活動については、協力、受入という言葉は上からのように聞こえる。連携や取組といった言葉にしてはどうか(鶴田委員)  
→展示希望は了解した。社会貢献活動の方は修正する。(尾崎会長、小川副会長)
- ・福祉部会では、ヤングケアラーの講演会チラシを引き延ばして展示希望する。ヤングケアラーについての勉強会の成果をまとめた模造紙があるのでそちらも貼りたい。(村上委

員)

- 了解した。(小川副会長)
- ・小川副会長からの2部説明の時間を増やしたほうがよい。(吉田秀委員)
- そのようにする。(小川副会長)

### 3 その他

- (1) 令和6年度辻堂まちづくり会議委員改選について  
事務局中丸主幹から、資料のとおり説明があった。
  - ・公募委員募集期間 1月25日(木)～2月16日(金)
  - 1～2期目の公募委員の方で、継続していただける方はご応募してください。
  - ・推薦団体への通知文等を推薦委員に配付。3月19日(火)までに提出してください。
- (2) 11月10日(金)開催した令和5年度郷土づくり推進会議地区交流会の議事録が届いたので、資料に添付していることを、尾崎会長から案内した。
- (3) 湘南工科大学で1月30日に開催する「大学生による提案・研究発表会」について、事務局から案内した。

以上

令和5年度 第11回 暮らし安心・安全部会 議事録

(開催日時) 2024年(令和6年)2月8日(木) 13:30~15:15

(開催場所) 辻堂市民センター 地区防災拠点本部室

(出席者) 委員: 山田部会長、赤塚委員、小川委員、秋葉委員、鷹野委員  
事務局: 中丸主幹、新倉、宮木

(議題等)

1 意見交換

(1) 都市マスタープランについて(都市計画課)

2 今後の取組について

(1) 令和5年度事業実施結果および令和6年度事業実施計画(案)について

3 その他

- ・辻堂地区復興まちづくりイメージトレーニングの参加について  
3月16日(土)午前9時30分~
- ・駅前掲示板3月担当者の確認

(議題)

1 意見交換

(1) 都市マスタープランについて(都市計画課)

- ・都市計画課から説明があった。

【内容】

- ・街づくり、都市づくりについて、過去から様々な計画により街づくりがされてきた。  
本日は、今後どのような街づくりを思い描いているか、お聞きしたい。

【意見等】

- ・資料に日付がない。また、2枚目のそれぞれの計画の制定日、関係部署の名称がない。  
→令和2年に調査したものをもとに、都市計画課で作成したもの。
- ・それぞれのまちづくり計画の制定日、関係部署、整備方針、目標等も記載してほしい。
- ・これまで計画をして、無くなった計画等も記載してほしい。  
→今後、整理した資料に作成し直す。
- ・今後、まちづくり会議でできること、考えることはあるか。
- ・都市マスタープランは地域住民の意見を聞く機会はあるか。  
→まちづくり会議での意見を聞いてから、市民の声を聞きたいと思っている。

2 今後の取組について

(1) 令和5年度事業実施結果および令和6年度事業実施計画(案)について

【意見等】

- ・来年度の事業計画を作成するうえで、全体集会での意見も取り入れる必要がある。議事録はないのか。  
→今日はまだ作成していない。次回の部会までに作成する。

- ・来年度の計画を作成するにあたり、全体集会での意見に縛られる必要はないのではないか。

### 3 その他

- ・辻堂地区復興まちづくりイメージトレーニングの参加について

3月16日(土) 午前9時30分～

#### 【意見等】

- ・辻堂地区復興まちづくりイメージトレーニングは何をするのか。  
→災害にあってしまった時に困らないように、イメージトレーニングをする。

参加者：山田部会長、小川副会長、秋葉委員

- ・駅前掲示板3月担当者の確認

担当者：赤塚委員、鷹野委員

- ・昭和通りのアンケートはどうなったか。

→2月2日(金)自治連の役員会で説明し、了解をいただいた。回収方法、対象者、時期を決めていないので、決定後、役員会に参加していない関係のある自治会、町内会長に説明する。残りの該当する自治会、町内会5は、小川副会長が説明に行くこととなった。

→回収方法は後納郵便で回収予定である。

- ・アンケートは何通くらい必要なのか。

→100件くらいではないか。

- ・「辻堂地区の交通事故マップ」「子ども見守り活動中」のチラシが出来上がったので、自治会町内会に送付する。

→「子ども見守り活動中」はラミネートして送付する。

- ・「子ども見守り活動中」は自治会の掲示板の設置数に基づいた枚数で送付してほしい。

→検討する。

以上

#### 【次回部会日程】

日時：2024年(令和6年)3月14日(木)

13:30～15:30

## 昭和通りの拡幅整備についてのご意見をお聞かせ下さい

辻堂地区まちづくり会議 暮らし安心安全部会では、湘南辻堂地下道南口の交差点から浜見山交差点までの通称昭和通りの沿道に土地を所有、または建物を所有、またはお住いの方へ、この道路の拡幅整備についてのご意見を賜りたく、本調査を実施しています。

### 道路拡幅のこれまでの経緯

神台1丁目交差点から浜見山交番前交差点までの間を県道308号線辻堂停車場辻堂線と呼び、この2170mの距離を幅員12mから26mの道路整備を行う路線として昭和32年(1957年)12月に都市計画決定されました。このなかで、辻堂駅周辺部では辻堂(羽鳥立体)土地区画整理事業が昭和61年から平成7年にかけて実施され、道路部分は沿道区画整理事業型街路事業として410m整備されました。浜見山交差点から浜見山交番前交差点までは幅員18mの道路拡幅計画です。今回調査対象とする湘南辻堂地下道南口の交差点から浜見山交差点までは幅員12mの道路拡幅計画となっています。

拡幅計画の延長2170mのうち駅周辺の410mを除き、残りの部分は計画が決定されてから65年の長きにわたり道路拡幅は実施されず、道路拡幅の事業は実施されることはありませんでした。

のみならず、概ね道路の幅員が計画幅員の2/3以上あるということを根拠に、この区間の全てが概成済として放置されてきています。

### 現在の課題

#### ① 建築の長年にわたる規制

拡幅予定の道路計画に含まれる土地建物については建築制限が継続し、自由に建物を建てる事が出来ません。一方概成済とされて道路拡幅が整備される見通しはなく、更に道路拡幅の実施も行われなくなると、住民の将来にわたる不自由を見通しもなく余儀なくます。

#### ② 歩道のないことによる歩行者への危険

浜見山交差点南に位置する湘南工科大学の学生諸君の駅～大学間の通学路となっており、多くの学生が歩道部分のほとんどない昭和通りを使って通学し、雨天の場合には傘の使用等により交通安全についての大きな課題となっています。

#### ③ 渋滞の継続

また北方向への交通は辻堂神台交差点を起点とする渋滞によって日中に著しい渋滞を生じ、南方向への交通は浜見山交差点の右折車両を起因とする渋滞が生じています。

#### ④ 沿道の沈滞化

沿道の建物や商業の状況を見ますと、空き店舗が多く、駐車場、空き地が目立ってくるようになってきています。ビル等の新たに作られる建築物は都市計画道路幅員までセットバックされて建設されますが、木造等の建築物は従来通りの計画道路内で建築することが許可されますので、道路の幅員は改善されず凸凹のまま空き地、駐車、駐輪などに利用されて、都市の景観を著しく阻害しています。

#### ⑤ 都市災害に対する危険性

辻堂地区の災害危険を考えますと、茅ヶ崎方面から藤沢駅に至るまでの連担する木造住宅地で火

災延焼危険が高く、都市基盤の未整備な密集市街地での延焼火災危険は著しく高い状況です。

災害時の避難活動や救援活動を考えると、東海道線を踏切によらずに移動できる基幹的な幹線道路は、昭和通りの西側は3km西の茅ヶ崎の一中通り、東には1.7km離れた引地川沿いの道路があるだけの状況です。昭和通りの災害時の防災活動における重要性は非常に高いものがあります。

### お考えをお聞かせください

このような状況を踏まえると昭和通りの都市計画道路の整備は喫緊の課題と考えます。沿道沿いに土地をお持ちの方、建物をお持ちの方、お住みになっておられる方々のご意見もお聞きすることが最も重要ですし、そして一緒に考えていくことが出来れば幸いと思う次第です。

なお昭和通りの計画についての資料、また昭和道路沿道を観察した状況の資料を末尾に添付いたしました。参考までにご覧ください。

どうぞこの資料をご覧ください、昭和通りの都市計画道路についてのご意見を回答用紙にお答えいただきたく存じます。同封しました返信用封筒に入れて**3月末まで**にご投函ください。

辻堂地区まちづくり会議 暮らし安心安全部会  
部会長 山田泰司

**資料1 昭和通り（県道308号線辻堂停車場辻堂線、都市計画道路3.5.5. 辻堂停車場辻堂線）**  
**昭和通りの場所、都市計画決定の状況、建築制限、藤沢市道路整備プログラムなどについて**

**1-1 道路拡幅の範囲と進捗状況の表をご覧ください**

右図は神台1丁目交差点から浜見山交番前までが道路拡幅の対象範囲を示した図です。

図の下の表は進捗状況を示しています。2170mのうち、410mは整備済、1760mが概成済、未整備0m、事業中0mとなっています。概成済とは整備済み以外の路線・区間のうち都市計画道路と同程度の機能を果たし得る現道（概ね計画幅員の2/3以上または4車線以上の幅員を要する路線）です。

**1-2 これから事業を予定する計画表には記載されてません**

藤沢市が今後どの道路を整備していくのかについては藤沢市道路整備プログラム（2016年（平成28年）3月藤沢市）に示されています。これは未着手の都市計画道路等の幹線道路を対象として、今後の概ねの着手時期等を示すものです。この計画には辻堂停車場辻堂線の道路拡幅は入っていません。都市計画道路として整備される計画にないことは、当分の間この道路拡幅計画が事業化されることはないでしょう。

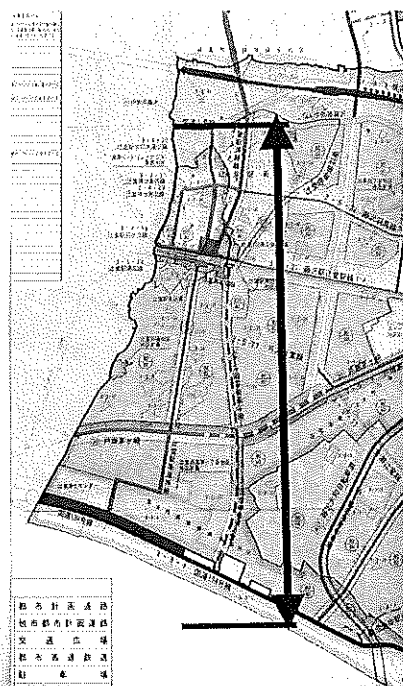
この計画が都市計画として決定したのは1957年です。それ以来470mが整備されたのみです。しかしながら計画自体は継続しています。そして計画が継続している限りは、予定されている道路幅員によって建築制限がかけられています。

**1-2 建築制限について説明します**

都市計画道路にかぎらず、都市計画で定められた都市施設（公園、緑地、交通施設、公共施設など）の区域、または市街地開発事業の施行区域内に建築物を建築しようとするときには、都市計画法第53条の規定により、あらかじめ都道府県知事（指定都市の場合は市長）の許可を受けなければなりません。都市計画道路の場合、次のいずれにも該当するものは原則として許可されず。

- 1 階数が2以下
- 2 地階を有しない
- 3 主要構造物が木造、鉄骨造、コンクリートブロック造、その他これらに類する構造

この③に示す構造は「容易に移転し又は除却出来るもの」ということを具体的に示した構造物を示しています。もちろん都市計画道路の外であれば建築は可能ですので、上記の「容易に移転し又は除却出来るもの」ではない建築物を建設することは出来ます。ですから鉄筋コンクリート造などの建築物は計画道路から外れたところに立てることが出来ます。



区分	整備済み	事業中	既成	未整備	
				既成有り	既成無し
都市計画道路	■■■■■	●●●●●	■■■■■	■■■■■	■■■■■
国道	■■■■■	●●●●●	■■■■■	■■■■■	■■■■■
県道	■■■■■	●●●●●	■■■■■	■■■■■	■■■■■
区分	別			未整備	
別	別			未整備	
備考	既成又は事業予定路線				
凡例	凡例				

図1 藤沢市都市計画道路等整備状況図 および辻堂停車場辻堂線（凡例の既成は概成の誤植）

すなわち容易に移転できず、容易に除去できない建築物例えばビルやマンションなどが出来上がってきます。しかし同時に計画道路にかかるところには木造、鉄骨造、コンクリートブロック造などが存在し、自然に都市計画道路が予定された幅で出来上がってくるものではありません。

## 資料2 昭和通り沿道の土地利用状況の把握

辻堂地区まちづくり会議では昭和通りの沿道の状況調査を昨年6月に実施しました。沿道の土地利用及び建物と道路拡幅路線図との関係についてです。以下に建物と計画路線との関係について紹介します。

### 昭和通り沿道の土地利用状況の把握

- (1) **把握区間** : 湘南辻堂地下道南口交差点から浜見山交差点までの1010m
- (2) **把握項目** : 都市計画情報図を用い、上記区間の沿道の土地利用を以下の区分で分類しました。
- 1 計画道路の線の内側に建築物が表示されている建物
  - 2 計画道路の線の内側に入っている判別が微妙な建築物（図面からは判然としない）
  - 3 計画道路の線の外側にあることが明らかな建築物
  - 4 緑の広場、空き地、駐車場等で利用している区画

### (3) 判定結果

	①建物	②建物	③建物	④区画	総建物数	総区画数
道路全体	29	23	40	17	92	109
総区画との比率	26.6%	21.1%	36.7%	15.6%	84.4%	100%

### (4) 考察

都市計画情報図上での判別によるものですが、おおむねの区画数109のうち計画道路にかかっている建物は29棟で27%、確認を要する建物は23棟で21%、計画道路にかかっていないとみなされる建物は40棟で37%、・空き地、駐車場等の土地利用の区画は17区画で16%、総区画数に対して建物の建っている区画は84%です。

辻堂停車場辻堂線の都市計画決定がなされてから65年が経過し、現在ではセットバックが必要となる建物は27%となっています（②建物が計画道路にかかっていないとした場合）。

65年に及ぶ事業未実施の間に、沿道の実態は建て替えによるセットバック、空家、土地利用の変化などにより、事業実施は計画当初より容易になっていると考えられます。

### (5) 提案

本道路の整備済み延長が410m/2170mであり、湘南辻堂地下道南口交差点から浜見山交差点までの1010mは全く含まれていない（整備事業がなされてこなかった）ことを考え合わせると、沿道住民の都市計画道路の整備事業についてのご意見を伺う調査を実施し、事業実施の課題を把握したいと思います。そして、それを踏まえて昭和通りの将来の在り方を関係行政とも協議してまいります。

（注：この土地利用現況調査は2023年7月に実施、調査担当は部会会員小川雄二郎）

## 昭和通りの道路拡幅についてのご意見記入用紙

1 都市計画道路3.5.5辻堂停車場辻堂線（昭和通り）の道路拡幅計画について、ご意見をお聞かせください。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

2 昭和通りの現状について、課題と思われる点についてのご意見をお聞かせください。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

3 あなたと建物所有、敷地所有の関係、構造、敷地と計画道路との位置関係をお教え下さい。

		該当するものに○を付け下さい。該当なしは無印	
昭和通り沿道の敷地	敷地を所有もしくは借地している	はい	いいえ
	敷地を所有もしくは借地している	はい	いいえ
	所有も借地もしていない	はい	いいえ
昭和通り沿道の建物	建物を所有もしくは借家していますか	建物を所有	借家
昭和通り沿道の建物の構造	建物の構造は木造、鉄骨造ですか	はい	いいえ
昭和通り沿道の敷地と都市計画道路	敷地は都市計画道路区域にかかっていますか	区画にかかっている	区画にかかっていない
昭和通り沿道の建物と都市計画道路	建物は都市計画道路区域にかかっていますか	区画にかかっている	区画にかかっていない

差し支えなければ、住所氏名をお書きください。

氏名		
住所		
連絡先		

令和5年度 第11回 辻堂交流部会 議事録

(開催日時) 2024年(令和6年)2月8日(木) 9:30~13:00

(開催場所) 辻堂市民センター 第1談話室

(出席者) 1 委員 …秋山部会長、吉田(紀)委員、吉田(秀)委員、和田委員  
久保田委員、堀川委員、千葉委員、片桐委員、鶴田委員  
2 事務局 …中丸主幹、片山、狩野尾

(議題等) 1 第6回辻堂ストリートギャラリープロジェクト「恋する辻堂」について  
2 八松小ウォークラリーについて  
3 辻堂写真館スピンオフ企画「ぶらり辻堂」について  
4 今後実施事業の振り返り及び令和6,7年度実施予定について  
5 その他

1 第6回辻堂ストリートギャラリープロジェクト「恋する辻堂」について

前回決めた掲出作業日時{4月9日(火)}から変更し、広報先について協議した。

掲出作業: 4月4日(木) 9:30~

広報先: 辻堂市民の家、アートギャラリー、湘南T-SITE、カメラのキタムラ、  
委員の知り合いなど

また、前回の部会でフラッグにタイトル等を追加できないか、という提案があったが、業者に確認したところ難しいことがわかった。ポールにタグで巻きつけるなど、別の方法を検討中。

(意見等)

- ・4月5日(金)の高砂小学校・高浜中学校の入学式に合わせて掲示できないか。  
→4月4日(木) 9:30~掲出作業を行うことにした。

2 八松小ウォークラリーについて

当日の参加者を決定した。なお、全部で13人必要なので、他部会にも参加を呼びかけるほか、おはようボランティア等にも声掛けを行う。

開催日時: 3月5日(火) 9:20~11:50 ※八松小正門に9:00集合

参加者: 秋山部会長、千葉委員、和田委員、吉田(秀)委員

なお、現在八松小学校で当日使用するしおりを作成中。出来上がり次第当日参加委員には共有する。

(意見等)

- ・昨年度の反省として、西の道祖神付近の道は危険という意見があがっていたが、大丈夫か。  
→先生方ともう一度協議する。見守りの人数を1名増やして3名にする方向性で進める。  
※これにより全部で13人必要となった。
- ・時間に余裕がなくなると、児童は走るの危険。スケジュールに余裕をもちつつ注意も必要。

### 3 辻堂寫眞館スピンオフ企画「ぶらり辻堂」について

実施日時と参加者を決定した。

実施日：3月17日（日）9：30～11：10 ※駅前掲示板に集合

参加者：秋山部会長、千葉委員、久保田委員、和田委員、吉田（秀）委員、吉田（紀）委員、  
鶴田委員

（意見等）

- ・辻堂という地名の由来になったとされる場所が3つあり、それらがルート内にある。  
→当日、吉田（秀）委員に案内していただけることになった。
- ・阿弥陀堂は、辻堂で最も古い御堂だという説がある。
- ・当初の企画にあったように、市民の家ではどなたか語り手をお呼びするか。  
→語り手は呼ばず、まずは実際に歩いてみての振り返りをする時間をとることとした。
- ・ウォーキング企画で駅スタートで市民の家がゴールという、スタート地点に帰ってこないワンウェイの内容は珍しいのではないかと。参加者に不便がないか検討が必要。
- ・事業として実施する際には、グループ分けをした上で、グループごとに説明する委員を決めたほうがよい。  
→他のウォーキングイベントのガイドで、説明できる方がいるのではないかと。  
→藤沢ガイドクラブや健康づくり課のイベントなどをもとに探せばいるとは思いますが、それはウォーキングを目的としているのでは。  
→まちづくり会議の辻堂寫眞館のスピンオフ企画だからこそその味を出したい。
- ・他のウォーキングイベントで、無線やワイヤレスマイクを使って、立ち止まらずに歩きながらガイドの説明や雑談が共有できる仕組みがあった。
- ・目的をきちんと整理するべき。さんぽなのか、辻堂の歴史伝承なのか、どちらに重きをおくのか決めたらうで、ミニさんぽの1つとするのか単体の事業なのかを考えたほうがよい。  
→辻堂の歴史伝承に重きをおき、単体の事業として検討する。
- ・辻堂寫眞館の作品を辻堂市民の家に掲示し、最後に戻ってきてから見られるようにできないか。  
→事前に展示物を持ち込んで設置すれば可能。  
→最初に市民の家に集合して、作品をみてから出発するのはどうか。駐輪場の確保の点でも市民の家スタートは便利に思う。  
→企画検討段階である今回は、当初計画していたとおり辻堂駅集合・市民の家解散とする。

4 今後実施事業の振り返り及び令和6, 7年度実施予定について  
今期の実施事業の一覧を元に、次のとおり意見交換した。

◎各事業の振り返り

【辻堂ストリートギャラリープロジェクト】

【湘南工科大学授業参加協力】

- ・中尾教授が次年度は総合デザイン学科の後期授業を受け持つことがわかり、お互いに納得がいけば次年度もフラッグアートを継続できる可能性が出てきた。  
→継続することについて、中尾教授も前向きな印象だった。難しくない範囲で続けたい。年に1回ならば、公民館まつりなど、多くの人の目に留まるタイミングでも掲出したい。
- ・中尾教授との話の中で、「海街ダイアリー」のような映画を辻堂を舞台にしての制作・上映するといったアイデアもあった。
- ・フラッグにすると、サイズの制約があって写真の魅力がすべて伝わらないこともある。フラッグが年1回になるのであれば、その空きで写真展を行うのはどうか。

→辻堂ストリートギャラリープロジェクトのひとつとして、フラッグアートは継続したい旨を中尾教授に伝える。その他の中身については来期に検討していく。

【辻堂寫眞館】

- ・TSUJIDO ギャラリーはどのように使えるのか。  
→学校・サークル・地域の3つに担当スペースが割り振られている。
  - ・見逃している方もいるので、今年度展示していたものを再度展示したらよいと思う。
  - ・秋山部会長によるテーマ考案、取材は今期で終了するが、辻堂の歴史に関する事業自体は入れたほうがよい。
  - ・写真を公募して展示するなど、もっとラフな形で実施してもよいのではないか。  
→お地蔵さんの写真など、テーマを絞って実施するのはどうか。
  - ・歴史伝承の手段の1つとして寫眞館を実施したが、引き続き歴史伝承としての実施でよいか。  
→辻堂寫眞館には「写真屋のショーウィンドウを眺めているかのような、家族写真の紹介」という側面もあった。どちらを目的に据えるかは来期に向けて考えたほうが良い。
  - ・来期の方々が考えるといっても、最初は何をやったらよいかわからないと思う。ある程度は今期で決めておいたほうがよい。
- 歴史に限定せず、「TSUJIDO ギャラリーの活用」という別事業として検討する。

### 【辻堂公民館まつり】

- ・継続。

### 【八松小ウォークラリー】

- ・発案はまちづくり会議ではなく学校であり、受け身の事業であると感じる。
- ・くらし安心安全で受け持った年もあれば、今年のように交流部会で受け持った年もある。何の違いがあるのかわからない。
  - 何が目的なのかで部会が変わっている。昨年度は学校から子どもの見守りをお願いしたいという依頼だったので、くらし安心安全の「子ども見守り事業」としたが、実際は各ポイントでの歴史語りが主だった。今年度も昨年度と同様の内容で依頼したいということだったので、「子どもの見守り」ではなく、「辻堂の歴史伝承」ということで交流部会の事業となった。
  - 便宜上、部会を設けて役割分担しているが、実施事業は部会ごとではなく、まちづくり会議全体で実施しているというスタンスは共通認識のはず。しかし、今年度の参加状況を見ると、他部会の事業に関して積極的ではなかった印象を持った。
  - まちづくり会議全体で事業を実施しているスタンスは、特に1期目の委員は言われなければわからないことなので、委員改選後最初の全体会議などできちんと時間をとって共有しておくべき。

### 【辻堂の海を守ろう】

- ・今年度使用したサザン池だが、水位を調整する機械が壊れてしまい修繕の目途が立っておらず、ユニバーサルカヌー等他団体の事業についても一律で中止となっている。
  - 安全面から良い会場ただだけに残念。プール開き前のプールを使わせてもらえないかなど会場を検討しなおすか、企画そのものを見直ししていく必要がある。
- ・SDGs キーホルダー作りを無料で実施している傍らで、有料でかつ数に限りがあり、内容も重複しているものが提供されたのはやはり良くなかった。
  - 合同開催したはずのビーチクリーンで、待ち合わせ場所間違いや、ごみの受け取りを拒否されてしまうことがあった。
    - 民間企業等とのコラボについては営利目的ではない等、運営方法のルールをまちづくり会議としてあらかじめ定めた上で、事業目的や内容について相手と綿密に打ち合わせを行うべき。
    - 準備を進める過程でより良い事業にしようとして新しい要素を増やすこととなり、他事業と並行して進めていたことも相まって段取り不足になってしまった。
    - これまでの活動で、民間企業と合同で事業開催した例はなく、交流部会らしい良い経験ができた。今期の結果を踏まえて次期に活かしていけば良い。

- ・ 17あるSDGs目標のうち、今期は「海の豊かさを守ろう」に絞って子どもたちに伝えてきたが、来期はどうするか
  - 参加者の満足度も高く、今後も実施してほしいというアンケートのご意見が多かった。
  - 内容は今期の実施結果を踏まえて来期に再検討するとして、紹介する目標は「海の豊かさを守ろう」でいいのではないか。

→今期と同様にSDGs目標14.「海の豊かさを守ろう」に焦点を当てた事業を実施する方向で来期に繋げることとする。

#### 【子ども回覧板】

- ・ 吉田（秀）委員と千葉委員で考えた内容を次回の部会で共有いただき、検討する。

#### 【ふるさとマップの更新】

- ・ 地図が辻堂市民センター移転前のものになっていることもあり、更新しなければならない。

#### 【その他】

- ・ 事業数が多いという懸念もあることから、年間予定を考える際には、実施時期まで落とし込んだ年間予定表の作成が必要。
- ・ 以前話のあった辻の盆への出店について、たとえばそのブース内でSDGs事業を実施するなど、いくつかの事業をまとめて実施するのはどうか。

→今回の振り返り結果を反映した各事業の実施時期付きの年間予定表（案）を事務局が作成し、次回の部会で来期の予定（案）を確定させる。

#### 5 その他

- ・ 2月の全体会議も二部構成となることから、終了時刻が15:30予定となることを共有した。

- ・ 辻堂地区復興まちづくりイメージトレーニングについて参加者を決定した。

日時：3月16日（土）午前9時30分～ 会場：辻堂市民センター 第二談話室

参加者：秋山部会長、吉田（秀）委員、久保田委員、千葉委員

- ・ 辻堂朝市について

3月14日（木）：久保田委員、吉田（秀）委員、鶴田委員が担当

3月28日（木）：片桐委員、千葉委員、吉田（紀）委員が担当

#### 【次回部会日程】

日時：2024年3月14日（木）

9時半～11時半頃

会場：辻堂市民センター 第1談話室

以上

## 3年生「八松ウォークラリー」について

日時: 2023年3月5日(火) 9:20 児童はクラスごとに正門集合 9:30 学校出発  
※まちづくり会議委員は 9:00 に 正門集合、当日打ち合わせは 9:20 おぼろに実施です。  
☆保護者の方は9:15 正門付近集合(※延期や中止の連絡は学校メールで流します。)

### 【当日の流れ】

9:15 保護者の方 集合 ★持ち物:時計等、ケータイ電話、見ているよ!バッジ、  
ウォークラリーの資料(クイズ、地図など児童と同じもの)

9:20 児童集合 ★持ち物:校帽、バインダー、筆記用具、レインコート(雨天時)

秋山さんから「八松の歴史についてのお話」(主に、道祖神のお話の予定)

校長先生から

9:30 班ごとに、保護者と合流。自己紹介。→ 班ごとに、少しずつ時間をずらして出発。

本部: 学校携帯① 090-4755-0348 (北側職員)  
学校携帯② 070-7363-5088 (南側職員)  
★早く回れたとしても、10:45より後に学校に着くようにしてください。(20分休みと重ならないようにするためです。)  
★11:10になったら、ポイントを全部回りきれていなくても、学校に戻ってきてください。(各ポイントにいらっしゃる方も、その時刻になったら、学校に戻って来てください。)  
★トイレは、宝泉寺と学校の2カ所です。

10:45~11:30 ①班ごとに学校へ戻り、自分の教室で待機。  
(保護者の方は、担任が戻るまで、教室で児童と一緒にいてください。)  
②担任が戻りましたら、保護者の方にご挨拶をします。→保護者解散

### <確認事項とお願い>

- ①5日が延期となり、12日の実施となった場合は、小雨決行です。その場合、子どもたちはレインコートを着用しますが、保護者の方は、傘を使用していただいて大丈夫です。(レインコートのみでも結構です。)
- ②途中で児童の具合が悪くなったり、怪我をしたりした場合などは、学校携帯にご連絡下さい。学校が近い場合は、保健室に連れて行ってください。その他のトラブルも遠慮無くお知らせください。
- ③北側の職員は宝珠寺に、南側の職員は宝泉寺にそれぞれ1名ずつおります。救急バッグを持っております。
- ④保護者の方には、今回のウォークラリーで気づかれたことや、改善点、感想などをアンケートに書いていただきたいと思います。簡単で結構ですので、ご記入をお願いいたします。(アンケート用紙は事前にお渡しします。事後、1週間以内を目安に担任までご提出ください。)

## タイムスケジュール

時間	内容	担当者	備考
8:30	コース点検	秋山	
9:00	まちづくり会議委員集合(正門)		
9:05	打合せ(会議室)		
9:15	保護者集合		
9:20	校庭で児童と顔合わせ ※進行:先生 1. まちづくり会議委員自己紹介(3分) →終了後ポイント担当者出発 2. 内容説明 (5分) 3. 注意事項 (3分)	各自  秋山 先生	
9:35	4. グループ(4, 5人)に分かれ、 グループ作業後出発 ※各ポイントへグループごとに行く ※全ポイントまわらなくてよい		
11:00	11:00で終了 ※11:15~11:30 各グループ帰着確認:先生 ※まちづくり会議委員は11:10になったら学校へ戻る。 ※児童は11:30より教室に入る		
11:30	振り返り		
11:50	終了・解散		

各ポイント	担当
宝珠寺	住職
宝泉寺	住職
天王山	まちづくり会議委員:2人
日枝神社	まちづくり会議委員:2人
諏訪神社	まちづくり会議委員:2人
八松稲荷神社、東の道祖神	まちづくり会議委員:2人
ウオークラリー中のパトロール	まちづくり会議委員:2人
子どもの見守り	PTA、まちづくり会議委員

## ぶらり辻堂 企画書

### 1. 目的

辻堂写真館で紹介した現場や、普段あまり注目しない地区内の神社や仏閣等を巡り、辻堂の歴史に触れる機会を提供する。

※今回はまちづくり会議委員を対象とし、次年度企画のヒントを得る。

### 2. 日時 (案)

3月10日、17日、24日のいずれか1日 ※小雨決行

9時30分～11時10分 ※辻堂駅前掲示板前に集合

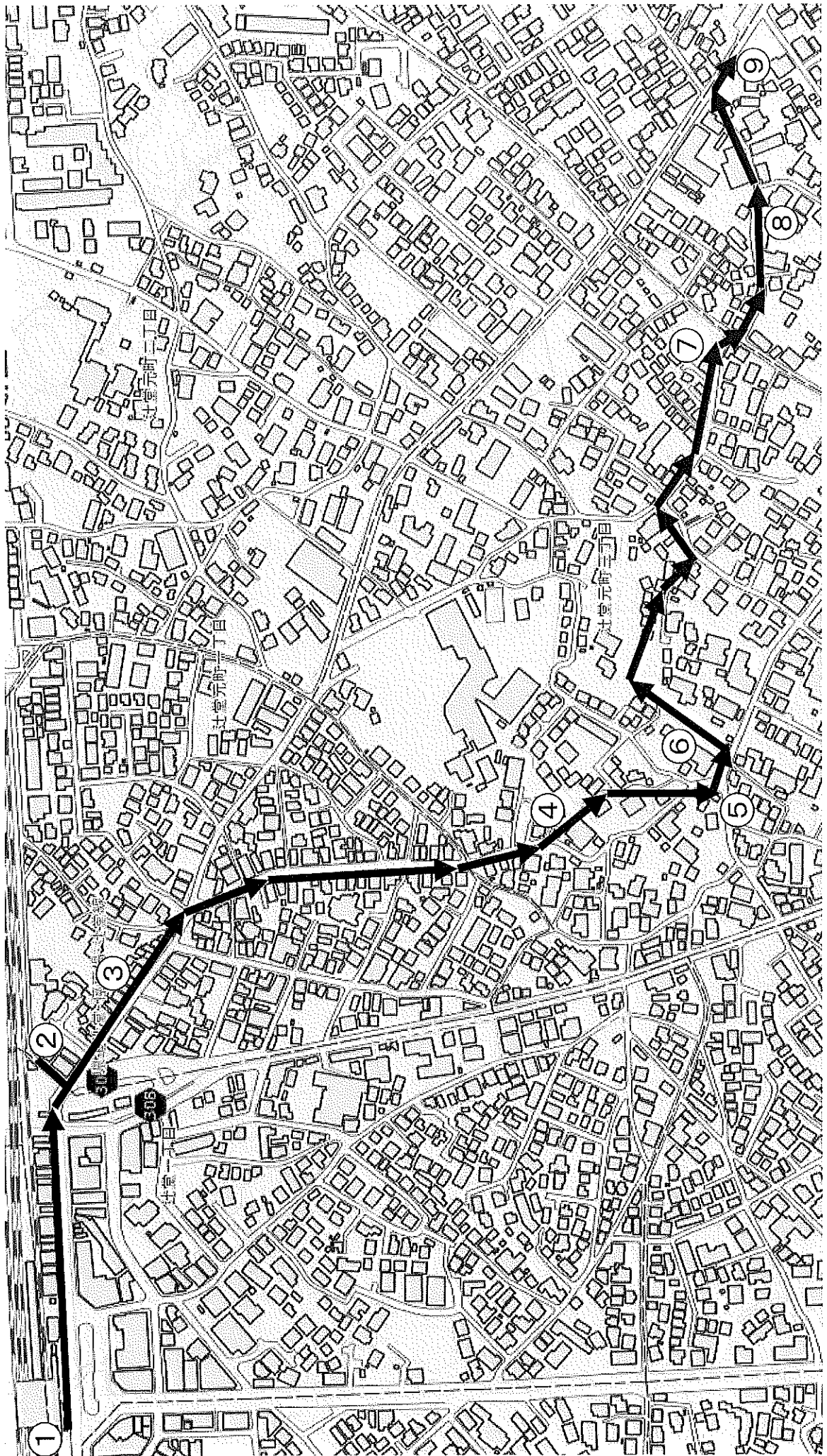
### 3. ルート

別紙マップのとおり

チェックポイント

- ①駅前石碑
- ②大踏み切り跡
- ③辻堂元町商店街「きくや」前
- ④八幡神社
- ⑤西町山車小屋
- ⑥白山神社
- ⑦阿弥陀堂
- ⑧川延邸
- ⑨辻堂市民の家

以 上



令和5年度 第11回 辻堂まちづくり会議福祉部会 議事録

(開催日時) 2024年(令和6年)2月15日(木) 13:30~15:30

(開催場所) 辻堂市民センター 地区防災拠点本部室

(出席者) 大橋委員、松尾委員、村上委員、池本委員、山下委員、伊藤委員、高野委員、黒川委員、近藤委員

(事務局) 辻堂市民センター 古河  
地域共生社会推進室 渡邊(敬称略)

- (議題等)
1. 「ヤングケアラーについて考える【研修会】」について
  2. 今年度の振り返り ~2年間の任期を振り返って~
  3. 情報交換等
  4. その他

〈議題〉

1. 「ヤングケアラーについて考える【研修会】」について
  - ・現時点での申し込み人数は15人(うち民生委員9人)
  - ・定員まで余裕があるため、引き続き周知活動をお願いしたい。全体会でも参加を呼びかける。

【決定事項】

- ・福祉部会は全員参加予定
- ・役割分担を次のとおり決定した。
  - 受付：伊藤委員、池本委員、近藤委員
  - 司会：村上委員
  - 開会挨拶：高野委員
  - 駐輪場整理：山下委員、大橋委員
  - 1階案内：松尾委員
  - 会場誘導：黒川委員

2. 今年度の振り返り ~2年間の任期を振り返って~
  - ・印象に残っている事業やエピソード、イメージが変わったこと、心が動いたこと等について各委員から発表

〈意見等〉

- ・活発に活動ができて楽しかった。事業の周知については広報委員会と協力してやり方を考えていけたらいい。世代間交流事業は来年度も実施したいと考えている。
- ・福祉部会で勉強したことを地域にいかん広げていけるかが課題。かぐやびよりの映画上映は印象的で、さんわーくかぐやは障がいのある方が社会に出られるように手助けをしている良い施設だと思った。

- ・公民館まつりでの年表作成が印象的だった。震災をきっかけに新しいまちづくりについて考えることの重要性を感じた。スムーズにまちを立て直すには、災害が起こる前からの住民の想いが大事。防災関係者だけが考えることではないと思う。
- ・障がいのある方の存在を意識してくれる人が増えた。障がい者というくくりではなく、一市民としてたまたま障がいのある人としての理解が深まったと思う。今後は福祉の視点をどう地域に広げていけるかを考えていきたい。
- ・数多くの事業が実施できたことは福祉部会としての成果。「まちづくり」という観点から、辻堂のために何を発信していくべきか。ただイベントをやって終わりにはしたくない。来年度、「福祉とは何か」という原点に立ち返って再度始めてみても面白いと思う。辻堂のまちの福祉には何が必要なのか、それを地域住民に発信し還元していきたい。また、高齢者分野にも力を入れていきたい。
- ・さんわーくかぐやに上映会のお礼に伺った際に施設の様子を見ることができてよかった。一人でも多くの人にまちづくり会議を知ってもらい、地域のために活動できたらいい。
- ・福祉部会の中で「障がい者」から「障がいのある方」と呼び方を変えたことが印象に残っており、その後全体会でも統一されているのが素晴らしい。周知に関して地域住民に広められていないことが残念。どのような方法がいいのか、他のやり方があるのではないか。また、高齢者・障がいのある方が困っていることは何か。子ども食堂、安全な道とは、気候変動による直射日光と猛暑対策、交通空白エリアに関して問題提起したい。福祉は範囲が広い。
- ・「ふくし」とは普段の暮らしの幸せ。市域でみると辻堂は裕福な地域。困っている人がどのくらいいるのか辻堂の現状を知ることが大事。まちづくり会議が今実施している事業の中に福祉の要素を取り入れていってもいい。まちづくり会議の委員みんなに福祉部会で話したことをもっと伝えるべき。福祉部会にはいきサポ、つむぎ、CSW等の福祉の専門職がいるため、もっと情報発信していけばよかったと反省している。辻堂の現状を捉えた上で、何を発信したらよいか考えるべき。

#### 【決定事項】

- ・福祉部会は誰のために何を目的に活動すべきか、委員それぞれが思う福祉とは何かについて、次回部会で本日の話し合いの内容も含め、引き続き意見交換を行う。

#### 3. 情報交換等

- ・各所属団体からの情報提供や普段の生活で気づいたこと等について意見交換を予定していたが、時間超過のため割愛。次回以降も継続的にこの議題を入れる予定。

#### 4. その他

○復興まちづくりイメージトレーニングの参加者を確認

松尾委員、大橋委員、黒川委員、池本委員

○伊藤委員からまちづくり会議だよりの福祉部会イチオシ事業の記事が完成した旨の報告があり、内容を確認した。

○全体会で伝えるべきこと（本日の会議のまとめ）

令和4・5年度の振り返りを行った。

[主な意見]

- ・社会的弱者である障がいのある方や高齢者にとって防災・災害のことは大事
- ・福祉の視点をまちづくり会議、さらには地域住民にどう広げるかが課題
- ・「障がい者」ではなく「障がいのある方」という認識が深まった
- ・ただイベントを実施して終わりではなく、福祉について地域住民に発信していくことがまちづくり会議の役割
- ・福祉は範囲が広い、今後は高齢者分野にももっと視点を向ける
- ・交通空白地帯にお住まいの社会的弱者は、移動の問題を抱えている
- ・社会的弱者が何に困っているのかをもっと話し合う必要がある
- ・各所属団体からの情報提供や委員同士の意見交換を密に行うべき
- ・まちづくり会議の各部会でのそれぞれの事業に福祉の要素を取り込む

⇒このような多数の意見を踏まえ、来年度はこれらに対してどのような課題があるのか、地域の特性について学んだ上で、深く話し合ってから次の取り組みを考えていきたい。また、福祉部会の役割やまちづくり会議での位置づけについて、来年度のはじめにしっかりと共有してから進めていきたい。

以 上

次回部会：2024年3月21日（木）13時30分～ 地区防災拠点本部室



研修会

# ヤングケアラーについて考える



地域の様々な方が集い、ヤングケアラーについて知り、共に考える研修会です

## ～ヤングケアラーはこんな子どもたちです～

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。

※一般社団法人日本ケアラー連盟による定義

2024年3月3日(日) 14時～16時15分 (13時30分受付開始)  
辻堂市民センター 3階ホールにて

### 対象者

藤沢市辻堂地区に在住・在勤の方 40人 (先着順)

### 内容

#### <第1部> 講演会

##### ①ヤングケアラーの“きほん”

(社福) 神奈川県社会福祉協議会  
ケアラー支援専門員 中島 契恵子(なかじま けえこ) 氏

##### ②ヤングケアラーを知ろう<当事者の立場から、伝えたいこと> ひとりやないで!～\*統合失調症の親を持つ子向けの広場\*～ 代表 樺山 枝里(もみやま えり) 氏

#### <第2部> 振り返り

グループに分かれて、参加者同士で講演会を聞いての感想を、自由に語り合う時間です。

### 申込方法

2月5日(月)～2月26日(月)までに  
**電子申請**にて(右の二次元コードから →)

※電子申請が難しい方はご連絡ください。

○お車でのご来場はご遠慮ください。

○イベントの様子を写真撮影させていただきます。

○いただいた個人情報は本事業の目的以外に使用することはありません。



【主催】辻堂まちづくり会議

【問合せ】辻堂市民センター 地域づくり担当

電話 (0466) 34-8661 FAX (0466) 34-4187

日時	2024年2月15日(木) 9:30 ~ 12:20		
場所	辻堂市民センター 地区防災拠点本部室		
出席者	<input checked="" type="checkbox"/> 久保田委員長	<input type="checkbox"/> 尾崎会長	<input checked="" type="checkbox"/> 小川副会長
	<input checked="" type="checkbox"/> 伊藤副会長	<input checked="" type="checkbox"/> 秋山副会長	
事務局	<input checked="" type="checkbox"/> 中丸主幹	<input checked="" type="checkbox"/> 松本	<input checked="" type="checkbox"/> 宮木
議題等	1 令和5年度広報委員会事業の確認 (1) 辻堂地区全体集会について(実施結果) (2) まちづくり会議だよりについて 2 その他 社会貢献活動辻堂発見リポーター実習評価について(報告)		

## 議事録

## 1 令和5年度広報委員会事業の確認

## (1) 辻堂地区全体集会について(実施結果)

・資料に沿って事務局から説明を行った。

## 【意見等】

・委員さんから誘っていただいた参加者が多かったので、意見が活発だった。

・アンケートは記入方式だったのか。

→そのとおり。

・回収率が悪かったが、二次元コードでのアンケートは実施しなかったのか。

→全体集会の終わりがバタバタだったので、上手く回収できなかった。二次元コードのアンケートは実施していない。

・辻堂小学校の先生が参加していて、年表が学校でも使えるかもと言っていた。

→今後、年表の活用を考えたい。

・グループ討議を別室で行ったのは良かった。

・受付で班分けをしたので、大変だった。

・ここから見えてきたものを検討することについては今後考える。

→次年度に向けて、テーマ毎に改善策を主としたものにまとめる。(小川副会長)

・参加した方にどのような形で返していくのか。

→写真以外の資料をこのままホームページに掲載することを全体会議で承認いただく。

## (2) まちづくり会議だよりについて

・資料に沿って事務局から説明を行い、修正をおこなった。

修正した原稿は、全体会議に間に合うようにする。全体会議で意見をいただき、修正した原稿は広報ラインで確認をお願いする。

・だよりの仕分け作業は、全体にお願いし、3月14日(木)12時から第2談話室で行う。

協力してくださった方々の名前はだよりに記載するスペースがないので、ホームページに載せることとなった。

→ホームページへの記載の仕方については、次回の委員会で検討することとした。

## 2 その他

○社会貢献活動辻堂発見リポーター実習評価について（報告）

・資料に沿って、事務局から説明をおこなった。

○令和5年度広報委員会事業予定表について

・次回の委員会に検討することとなった。

### 【今後の予定】

○2月全体会議            2月22日（木） 13：30～／ホール

○次回委員会            3月21日（木） 9：30～／拠点本部室

以 上

# 令和5年度 辻堂まちづくり会議全体集会 実施結果

## 1 概要

目的	辻堂まちづくり会議について周知を図るとともに活動内容に興味を持っていただく。また、会議の場に加わることで辻堂への誇りや愛着を高めてもらい、活動への参加のきっかけを作る。
日にち	2024年2月4日(日) 午後1時30分～3時30分 (午後1時開場)
会場	辻堂市民センター3階ホール(予備室:第1談話室、アトリエ)
開催方法	現地集合
定員	会場80人(先着順)
参加費	無料
内容	第1部 辻堂まちづくり会議の取組 第2部 辻堂の道
その他	手話・保育あり(申込制)

## 2 タイムテーブル

- 11:30 広報委員会集合、会場設営開始
- 12:00 役員集合、会場設営開始 (別紙1 会場レイアウト を参照)
- 13:00 開 場
- 【開会】【第1部】辻堂まちづくり会議の取組
- 13:30 開会(司会 久保田委員長 2分)
- 13:32 主催者あいさつ(尾崎会長 3分)
- 13:35 まちづくり会議・社会貢献活動の概要説明(伊藤副会長 5分)
- 13:40 湘南工科大学 社会貢献活動の取組
- ・社会貢献活動報告(広報)(学生 5分)
  - ・社会貢献活動報告(防災)(学生 5分)
- 13:50 辻堂年表、シンカルタ、アンケートのパネル紹介(司会2分)
- 13:52 パネル見学開始
- 【第2部】「辻堂の道」について
- 14:05 概要説明(小川副会長 10分)
- 14:15 小グループで話し合い(別紙2 委員グループ を参照)
- 15:00 グループ発表
- ((各グループ3分+入替1分) × 6 = 24分)
- 15:25 閉会あいさつ(秋山副会長 5分)

### 3 内容

#### (1) 【第1部】辻堂まちづくり会議の取組

- ・伊藤副会長から、冒頭で辻堂まちづくり会議の取組・事業紹介と、その一環としての社会貢献活動の取り組みについて説明をする。
- ・湘南工科大学の学生が、PCとスクリーンを用いて発表する。
- ・司会の久保田広報委員長から、各パネルの簡単な説明を行う。第2部が開始するまでの時間、参加者には自由にパネルを見て回ってもらう。委員は一般参加者の邪魔にならない程度の人数で、パネルの前に説明要員として待機する。(担当場所などは当日調整)

#### (2) 【第2部】「辻堂の道」について(グループでの話し合い)

- ・小川副会長から、冒頭で話し合い～発表までの流れの説明をする。
- ・グループでの話し合いの時間配分例
  - 14:05～14:15 小川副会長からの冒頭説明。
  - 14:15～14:20 グループ内自己紹介。
  - 14:20～14:40 配布した公民館まつりアンケート結果を軽く読む。  
自分の意見を付箋に書く(課題を黄色、解決策を赤)  
グループ内で意見発表し、発表用に分類していく。
  - 14:40～15:00 議論しながらグループの意見をまとめる。
  - 15:00～15:24 グループ発表 (別紙3のイメージ)  
(各グループ3分+予備1分) × 6 = 24分)
- ・各グループの机には、次のものが用意されている。  
模造紙 3枚(意見を書いた付箋を貼る、下書き、発表用などの用途に)  
付箋(自分の意見を書いて模造紙に貼り付ける。)  
マジックペン、辻堂地区防災マップ

### 4 委員の主な役割分担(敬称略)

会場準備	全員(委員集合 12時00分)		
駐輪場(各部会1名) 13:00～13:30	秋葉	吉田紀	大橋
受付(各部会1名) 13:00～13:30	小川 (参加者割振)	千葉	山下
司会進行	久保田		
開会	司会		
主催者あいさつ	尾崎		
【第1部】辻堂まちづくり会議の取組			
取組の説明	伊藤		
社会貢献活動報告	広報学生	防災学生	

パネル	別紙1、2参照
【第2部】「辻堂の道」について	
グループ	別紙2参照
閉会あいさつ	秋山
片付け、掃除	全員
マイク他雑務	松本、新倉、片山、古河

## 5 参加者

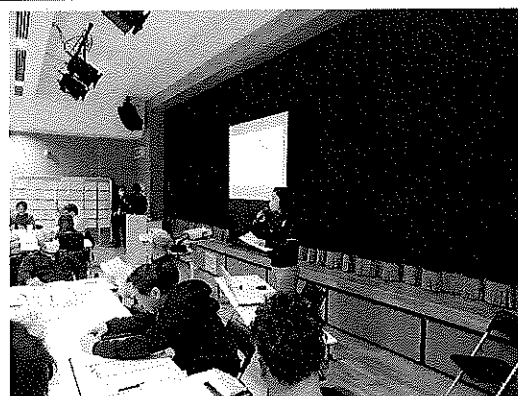
参加者 64人

内訳	会場参加
一般参加	31人
まちづくり会議委員	21人
湘南工科大学社会貢献活動実習生、 及び担当教員	6人
事務局	6人
計	64人

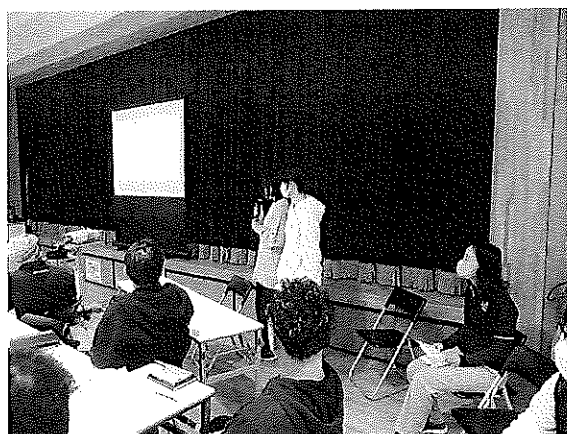
## 6 当日の様子



開会



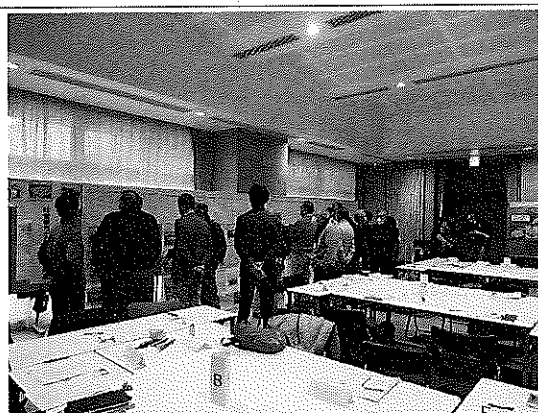
【第1部】辻堂まちづくり会議の取組



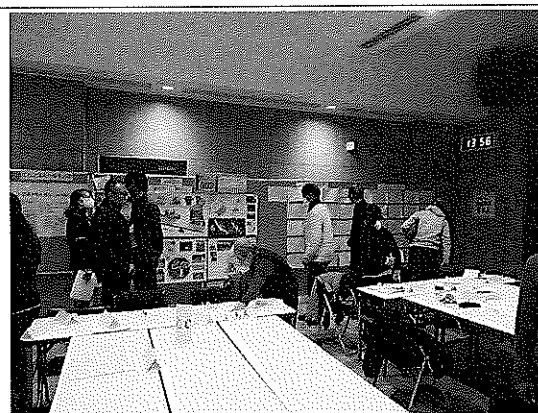
【第1部】学生発表（広報）



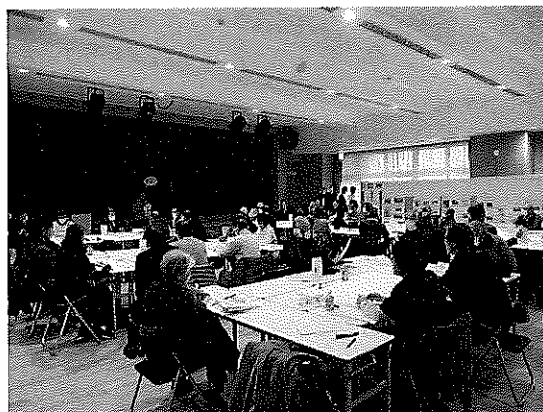
【第1部】学生発表（防災）



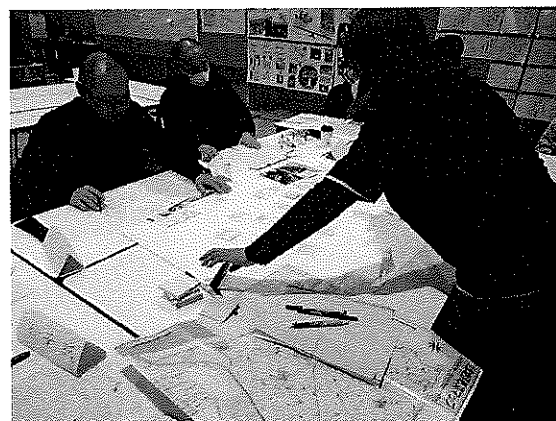
【第1部】パネル展示



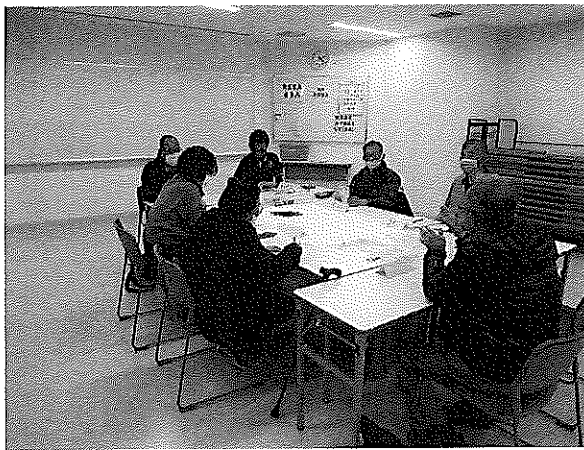
【第1部】パネル展示



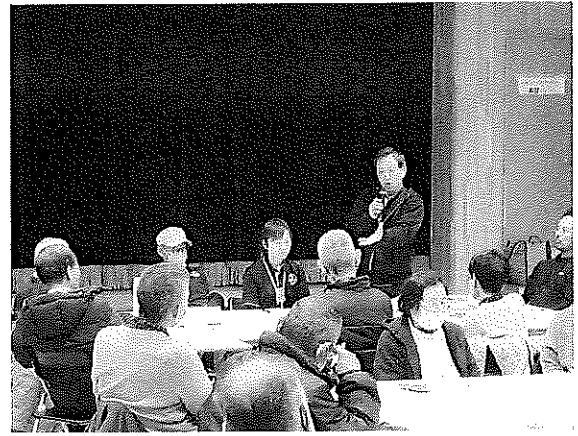
【第2部】話し合いの説明



【第2部】グループでの話し合い



【第2部】グループでの話し合い（別室）



【第2部】発表の様子

7 発表内容のまとめ

別紙4のとおり

8 アンケート結果

別紙5のとおり

以 上

別紙4 発表内容のまとめ

班名	発表者	テーマ	発表内容
A班	吉田 (秀)	道が狭い	<p>道が狭いために特に危険を感じる昭和通りと辻堂小学校の通学路について、問題点のすり合わせと改善策について意見交換を行った。</p> <p>1 昭和通り</p> <p>(1) 状況のすり合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和通りは慢性的に車、人、自転車の交通量が多く、常に接触の危険を感じる。</li> <li>・特に雨の日は傘が車に接触するのではないとヒヤヒヤする。</li> </ul> <p>(2) 改善案</p> <p>①ハード面での対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浜見山から西町の信号機までの間の、西側の道路に幅の広い歩道を作る。</li> <li>(両サイドを広げるよりは現実的ではないか。)</li> <li>・道路沿いの店や住居にセットバックしていただくように、市や県が積極的に働きかけるようにできないか。</li> </ul> <p>②ソフト面での対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和通りは湘南工科大学の通学路となっているため、通学路の見直しを大学側へお願いしてはどうか。</li> </ul> <p>2 辻堂小学校の通学路</p> <p>(1) 状況のすり合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の数が多く、登下校時は遅にあふれている。</li> <li>・見通しの悪い交差点が多く危険である。</li> <li>・狭い道にも関わらずスピードを出す車がある。</li> </ul> <p>(2) 改善案</p> <p>①ハード面での対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・辻堂地区共通の子供の飛び出し注意の看板を作り注意喚起する。</li> </ul> <p>②ソフト面での対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一方通行を増やす。</li> <li>・車の速度制限箇所を増やす。</li> <li>・通学道路の車の乗り入れ時間の規制箇所を増やす。</li> <li>・子供の飛び出しを防ぐためには、交通安全教育が重要である。</li> </ul> <p>3. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車を減らすためにバスの便を増やす。または、自転車を手軽に利用できるように駐輪場などの施設を増やす。</li> <li>・安全に自転車に乗るために自転車ナビマーク（矢羽）を促進して欲しい。</li> <li>・電柱がセットバックされていない箇所が散見されるため、市が積極的にセットバックさせるなどの対応をお願いしたい。</li> <li>・狭い道を安全に利用するためには、まずは、一人一人が最低限の交通ルールを守ることでないか。</li> </ul>
B班	尾崎	渋滞	<p>1.テラスモールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専用道路を作ったり、専用バスを用意できないか。</li> <li>・渋滞情報がライブカメラなどで確認できるとよい。</li> <li>・駐車料金を値上げする等して、総台数を減らす工夫をする。</li> <li>・徳洲会病院とSSTをつなぐシャトルバスを、テラスモールでも降車できるようにする。</li> </ul> <p>2.駅周辺や県道について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下道が渋滞するので、車線を増やせないか。</li> <li>・県道30号は辻堂を通過するだけの車が多いため、高速道路を無料化する。</li> <li>・駅から浜見山で右折車線ができればよい</li> <li>・線路をくぐるトンネルを抜けた先の信号のタイミング調整で、解消につながらないか。</li> </ul>
C班	伊藤	歩行者・自転車のマナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人のための自転車ルール&amp;マナーイベントを開催（大人も子どもも楽しめるイベントアトラクションつき）</li> <li>・無灯火が多いので、暗くなってから駐輪場から出てくる自転車に啓発グッズなどを配布。（日中の啓発活動ではなく暗くなってから）</li> <li>・警察に青色切符などの取り締まり強化を依頼</li> </ul>
D班	久保田	歩行者・自転車のマナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車のマナー、交通ルールの周知のために、子供よりもむしろ大人への啓発、訴えをする。学校の子供達から親に伝わるようなキャンペーンを張る。</li> <li>・道路の自転車レーン表記を徹底する。</li> <li>・警察に厳しく取り締まってもらう。</li> <li>・自転車の販売店で、購入者に向けて安全意識啓発を徹底してもらう。</li> <li>・安全に走行できる自転車ナビを開発する。</li> </ul>
E班	秋山	歩行者・自転車のマナー	<p>1.自転車、歩行者の専用道路は、線を引くだけでなく、完全に道路自身を色分けをはっきりする。</p> <p>2.自転車の違反は、罰金制度を作る。</p> <p>3.自転車は、気楽な乗り物ではなく、車両としての運転手には、歩行者保護をするので、家庭内での教育や、学校での交通安全教育。常時、警察官をよんで学年別で実施。</p>
F班	山下	道が狭い	<p>1.「道を拡げる」という観点では、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政の計画が古いので、見直しが必要</li> <li>・辻堂の南北をつなぐ道路があるとよい</li> </ul> <p>2.「そもそもの辻堂の道は狭い」という前提で考えると・・・</p> <p>(1) 今の状況を踏まえた上での工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海浜公園通りの活用</li> <li>・道路に色をつける等して、交通手段に応じて自転車の通り道をわかりやすくする</li> <li>・標識などの工夫（狭いところをわかりやすく、目標物が目立つように等）</li> </ul> <p>(2) 市民・まちづくり会議として出来ること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マナーアップの取り組み（狭いからこそマナー啓発、親子教室等ができれば）</li> </ul>

## 別紙5 アンケート結果

1 参加のきっかけを教えてください。（複数回答可）

①回覧チラシ	5
②ホームページ	1
③Facebook	0
④知人からの誘い	7
⑤駅前掲示板	0
⑥その他	1
合計	14

参加者31名

アンケート回収 13枚

2 感想をご記入ください。今後の活動の参考にさせていただきます。

(1) 辻堂まちづくり会議について

・初めて参加した。大変良かった。
・初めて参加しましたが、色々教えてもらった。辻堂に引っ越して2年となりますが、歴史を含めて参考になった。
・知らないところでたくさんの方々が辻堂について考えてくれてるんだなと嬉しく思いました。もっと交流の場が増えたらうれしいです。
・これからもよろしく
・もっと一般の人に知っていただけるようにするべきです。
・みなさんの工夫やアイデアがすばらしいと思います。
・辻堂の街を真剣に考えている組織であることを認識しました。
・活気がある。委員さんたちのやる気がすごい！
・様々な活動をされていて、地域の安全と発展に寄与されている事を知りました。
・活発に活動している。
・大変良い活動をしていると思う。湘南工科大学の参加は非常に良いと思う。工学技術をまちづくりに役立てられると思う。

(2) 「第1部 辻堂まちづくり会議の取組」について

・社会貢献活動報告、大事なことだと思った。
・しっかりと、学生さんが地域で活動していることを知りました。朝市・ギャラリー等活動しており、Facebookを見ようと思った。
・今後も参加したいと思います。
・とても分かりやすくよかった。湘南工科大学との協力をずっと長く続けてください。
・非常にためになりました。
・若い力に勇気をもらいました。
・今後の取組を市民と共に進めていけたらと思います。
・学生たちの発表が良かった。子どもの企画をもっとやってほしい。
・地域の連携がよくわかりました。
・よくわかった。

・真剣さがあり、この状況を続けてほしい。

### (3) 「第2部 辻堂の道」について

・渋滞について、テラスモールへ通ずる渋滞原因について、解消策についての提言。

・自分で思う意見を言わせてもらい、参加者も自由に話せた。面白い話し合いの場となる。

・交通ルールの教育と指導が重要と思った。(車と自転車)

・自分の考え以外のこともしれてよかったです。

・昭和通りの狭さががかんじが浮き彫りされていますが、昭和通は県道との事。県道の中でも速攻に落ち葉がいっぱいになるので、一度点検を・・・

・良い議論ができたと思います。

・いろいろな方の意見が聞けてよかった。

・どの班も熱い意見交換をしていて、活気があった。発表も短い時間でしたが、良くまとまっていた。

・辻堂の道は狭いので、自転車、自動車、歩行者のかかわりがややこしい。

・部会ごとに分かれて、活発な意見交換ができた。

・辻堂駅周辺、モールフィル周辺、浜見山交差点周辺など、車の渋滞箇所が多い。具体的な対策を行うことが重要。

### 3 「辻堂」について日頃から感じるがありましたらご記入ください。

・交通渋滞を除けば住みよい所と感じている。

・八王子→中野→横浜と引越して、2年前に辻堂に来ました。海が近いので、毎朝日の出を見に家内と散歩しています。老後住むには良い場所です。次回会議があれば、参加したい。

・辻堂駅の自転車通り抜けの地下道路が欲しい。駅のELVに自転車も載せられるELVにして欲しい。

・もっともっとよい辻堂になるように！

・子どもも大人にもマナーを再勉強してほしい。

・住みやすい良い町だと思います。

・新しく住まれた方と昔からの人との交流があるとよい。

・とにかく全体的に自転車に乗る人のマナーが悪いので、どうすればよいかを考えたいです。

・住みやすい、若い人が多い。若い人が地域活動に参加してほしい。

・住み始めて60年、愛着があります。

・海が近く空が広く、とても住みやすい町。

・住みやすい地域である。湘南地域として誇れる所である。

(一部抜粋)

辻堂地区郷土づくり推進会議運営要領

(委員の任期)

第6条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 委員は、2回に限り再任されることができる。ただし、推進会議が当該委員の意向を確認して、推進会議の推薦を受け、委員選考委員会が再任の必要を認めた者とする。

(一部抜粋)

令和6年度 辻堂地区郷土づくり推進会議

委員選考委員会、公募委員募集及び選考に関する要領

- 5 公募委員の募集方法及び募集人数

公募委員の募集は、広報紙その他の方法により行い、募集人数は10人とする。

- 6 公募委員の任期

公募委員の任期は運営要領第6条の規定により、令和6年4月1日から令和8年3月31日までの2年間とし、再任は2回に限りできるものとする。ただし、再任する者は辻堂地区郷土づくり推進会議の推薦を受け、選考委員会が再任の必要を認めた者とする。

- 7 応募資格

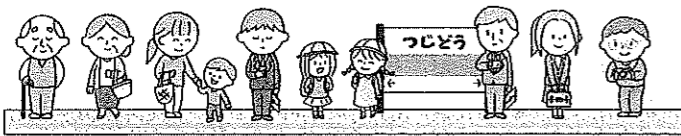
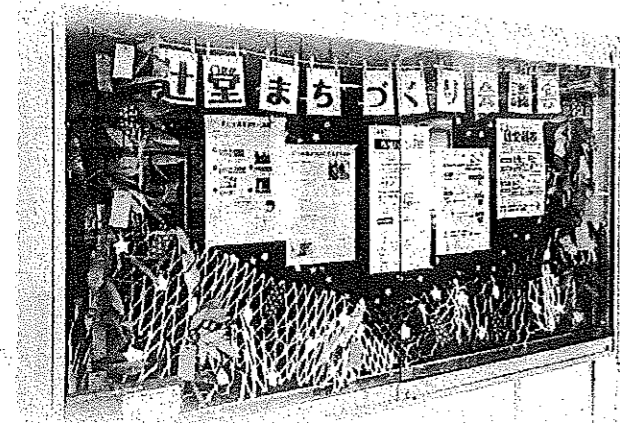
公募委員の応募資格は、次のいずれにも該当する者とする。

- (1) 辻堂地区内に在住、在勤、在学又は地区で活動を行っている者
- (2) 辻堂市民センターで開催予定の辻堂地区郷土づくり推進会議に出席が可能な者
- (3) 本市の常勤の特別職・職員及び議員でない者

令和6年度 辻堂地区郷土づくり推進会議委員 再任公募委員名簿

No.	氏名(敬称略)	ふりがな	期数	備考
1	秋山 正行	あきやま まさゆき	2期	
2	堀川 輝夫	ほりかわ てるお	1期	
3	千葉 郁世	ちば いくよ	1期	
4	鶴田 智博	つるた ともひろ	1期	

～駅前掲示板特集～



コロナ禍をくぐり抜け、もはや情報発信はSNSが主流に。まちづくり会議・広報委員会も、さまざまなイベントのお知らせ、活動報告をFacebookで、発信しています。

それと同時に、地域ならではのアナログ発信もしています。辻堂駅コンコースの掲示板（2012年設置）をご覧ください。毎月1回、季節の移り変わりを表す装飾とともに、この地区ならではの回覧板、町内会で配られる配布チラシを掲示しています。

春の「桜」、夏の「七夕」、秋の「落ち葉の森」、冬の「クリスマス」そしてお正月「辻堂の初日の出」などなど。また、新たな試みとして、毎年参加している「公民館まつり」の、単体PRもしました。待ち合わせに、通勤、通学の折に、辻堂の風を感じていただければ幸いです！

会長あいさつ 「一人ひとりが辻堂プライド」

辻堂には何がありますか？海ですか？公園ですか？辻堂の暮らしには、あと何があれば良いですか？暮らしやすさがあれば、暮らしにくいもあります。好きがあれば、嫌いもあるものです。辻堂は本当に良いところですか。それは何故でしょうか？どうして良いところだと思いますか？改善の必要は何一つありませんか？本当は良いところばかりではありません。

『不便があるから考える』それが辻堂まちづくり会議。

辻堂まちづくり会議会長 尾崎文彦

辻堂まちづくり会議フェイスブックのお知らせ

「辻堂まちづくり会議」って何？Facebookを覗いてみてください！辻堂愛にあふれた、まちづくりの最新で、詳しい情報をアップしています。fj-tsuji-c@city.fujisawa.lg.jp



2次元コードを読み込んでフォローをお願いします。

辻堂プライド 辻堂まちづくり会議 https://m.facebook.com/tsujidou.pride

◆辻堂まちづくり会議委員(敬称略)◆

- |                            |                           |                         |
|----------------------------|---------------------------|-------------------------|
| 赤塚 商蔵 (辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会) | 山田 泰司 (辻堂地区社会福祉協議会)       | 齋間 道雄 (辻堂地区青少年育成協力会)    |
| 和田今日子 (辻堂地区交通安全対策協議会)      | 吉田 紀行 (辻堂地区生活環境協議会)       | 橋本美知子 (辻堂地区防犯協会)        |
| 小川雄二郎 (辻堂地区防災協議会)          | 近藤真由美 (辻堂東地区民生委員児童委員協議会)  | 秋葉 誠 (辻堂西地区民生委員児童委員協議会) |
| 伊藤 和子 (辻堂公民館評議員会)          | 鷹野三枝子 (高浜地域子ども支援会議)       | 大橋 洲二 (浜見地区社会体育振興協議会)   |
| 中野由紀子 (辻堂商店会連合会)           | 片桐 賢 (辻堂地区老人クラブ連合会)       | 松尾 良子 (ネットワーク湘南堂夢)      |
| 黒川 康弘 (辻堂東地区いきいきサポートセンター)  | 高野 拓弥 (辻堂西地区いきいきサポートセンター) | 村上 純子 (辻堂地区ボランティアセンター)  |
| 山下 美波 (西南部障がい者地域相談支援センター)  | 吉田 秀樹 (公募委員)              | 尾崎 文彦 (公募委員)            |
| 秋山 正行 (公募委員)               | 久保田 恵 (公募委員)              | 池本 茂男 (公募委員)            |
| 堀川 輝夫 (公募委員)               | 千葉 郁世 (公募委員)              | 鶴田 智博 (公募委員)            |
| 芳山久美子 (公募委員)               |                           |                         |
- (任期：2022年4月1日～2024年3月31日)

# 辻堂 vol.14

2024年(令和6年) 3月25日発行  
発行 辻堂まちづくり会議  
問合先 辻堂市民センター  
TEL0466(34)8661

## まちづくり会議だより

辻堂まちづくり会議は、まちの声を大切に一緒に「辻堂のこれから」を考えます。

より安心で安全に暮らせる  
まちをめざします

人と人とのふれあいを大切に  
笑顔あふれるまちをめざします

地域で支えあえるまちをめざします

みなさんの声を「聴く」そしてその声をまちづくりに生かしていくために、私たちまちづくり会議委員はさまざまな活動をおこなっています。

## 辻堂地区全体集会

2024年2月4日(日)開催  
・第1部：辻堂まちづくり会議の取り組み発表  
・第2部：辻堂の道(話し合い)  
・参加者：52人

地区全体集会在、「辻堂の道」をテーマに辻堂市民センターで開催されました。参加者は辻堂在住の方、辻堂に関心をお持ちの方、まちづくり会議委員も含めて総勢52人となりました。

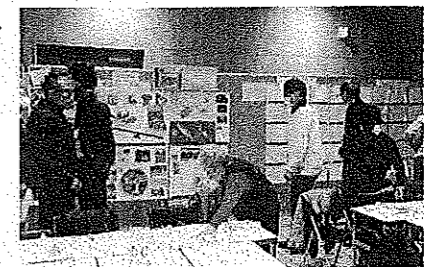


この集会の目的は、辻堂の持つ課題を取り上げ、その解決の方策を検討することにあります。そこで出された意見や方策を踏まえて、辻堂まちづくり会議の来年度の活動を構築してまいります。

会場にはこれまでのまちづくり会議の活動内容を展示し、役員が説明するポスターセッションの時間をもち、また湘南工科大学の社会貢献活動授業の実習として取り組まれた「辻堂発見!リポーター」、「子どもの防災学習:チームレスキュー」の二つの報告がありました。

辻堂の課題として「辻堂の道」を取り上げ、「道路が狭い」、「道路が渋滞」、「歩行者・自転車のマナー」に分かれて、課題と解決方策を参加者全員がグループごとに話し合いました。明日にも出来るようなことから長期に腰を据えて取り組まなければならないことまで、本当にさまざまな解決方法が提案され、発表されました。

これらを聞いて尾崎会長から、「公民館まつりで「辻堂の良いところ、悪いところ」のアンケートを行い、その結果に基づいて課題を設定して皆で解決策を話し合った。この結果を来年度のまちづくり会議の活動に取り入れて、課題の解決に取り組んでいきたい」と感謝の意が表されました。



辻堂まちづくり会議の情報は、ホームページ「辻堂ドットコム」でもご覧いただけます。

https://chiiki-bosai.jp/hp/p00332

辻堂ドットコム



詳細はホームページもご覧ください

# 交流部会 <sup>いっしょに</sup> 一押し! 事業 <sup>おたが、字を 入れました。 位置はいいね</sup>

## SDGs海の豊かさを守ろう～辻堂の海を守ろう～

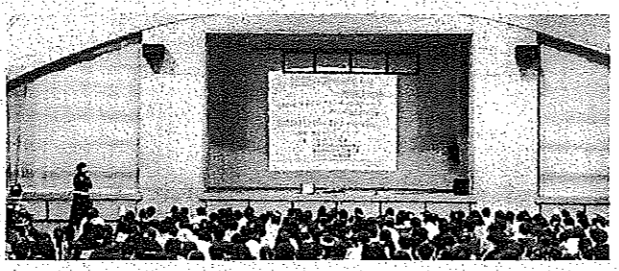
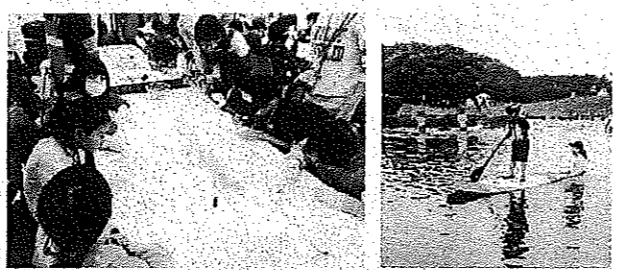
交流部会では、SDGs 目標の1つ「海の豊かさを守ろう」を子どもたちに楽しみながら学び、取り組んでもらうため、「辻堂の海を守ろう」と題してシリーズ企画を実施しました。

第1回「SUPでSDGs体験」は、ウォータースポーツであるSUP（サップ=Stand UpPaddle）を楽しみながら、水上でのゴミ拾いを体験してもらいました。

第2回は、アメリカのドキュメンタリー映画「マイクロプラスチックストーリー～ぼくらのつくる2050年～」の上映会を開催しました。辻堂地域の小学校や市民センター、オンラインで複数回上映し、延べ457人の方に鑑賞していただきました。

第3回「SDGsキーホルダーとカラビナに誓いを込めて」では、辻堂の海岸でクリーン活動をしている方々と一緒にビーチクリーンをして、そこで拾ったマイクロプラスチックで、誓いのキーホルダーやカ

ラビナを作りました。  
どのイベントも、まちづくりスタッフが手作りの紙芝居を使い、地元の方々にご協力いただき、好評でした。



# 福祉部会 <sup>いっしょに</sup> 一押し! 事業 <sup>おたが、字を 入れました。 位置はいいね</sup>

## 障がいの理解～防災を通して考える～

福祉部会では障がいのある方の防災・避難行動時の配慮について当事者のニーズを知り、災害時の具体的な配慮や支援について知る取り組みを行っています。

今年度は、まちづくり会議のメンバーの他、地域の防災協議会や辻堂地区社会福祉協議会の方にもご参加・ご協力いただき、皆で一緒に避難時に使用するスロープを歩きました。また、市民センター内や防災倉庫の見学や、災害時に活用できる簡易パーテーションやベッド、災害時のトイレなども体験することができました。目に見えづらい困難さや支援や関わり工夫で安心できるということと一緒に活動することで共有し、お互いの理解が少しでも深まっていたら嬉しいです。

福祉部会では当事者に寄り添い、お話を伺いながらこれからも誰もが楽しく安心して過ごせるまちを目指して活動していきます。



# 辻堂まちづくり会議とは

藤沢市内13地区にある地域住民が主体となって活動する会議体のひとつで、正式には「辻堂地区郷土づくり推進会議」という名称ですが、私たちは親しみを込めて「辻堂まちづくり会議」と呼んでいます。

辻堂地区では、自治会、福祉、防災、防犯などの地域団体から推薦された19人と、公募による9人の合計28人の委員で活動しています。

辻堂に暮らす人たちが、より安心安全に暮らせるま



ちをめざして、人と人のふれあいを大切に、まちのさまざまな課題に取り組んでいます。

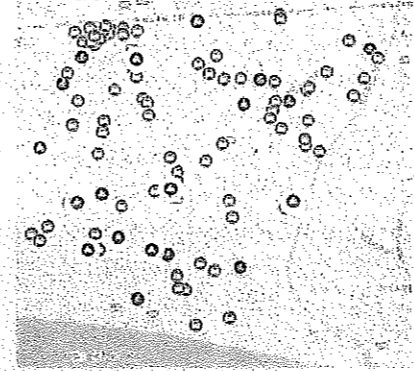
みなさまのご参加、ご意見をお待ちしています。

# くらし安心・安全部会 <sup>いっしょに</sup> 一押し! 事業 <sup>おたが、字を 入れました。 位置はいいね</sup>

## ～交通事故の防止に取りくむ～

2017年から2022年の6年間に辻堂地区内でおきた対人（車対人・バイク対人・自転車対人）の交通事故マップを作成し地区内の各自治会町内会や学校等に配布しました。

また、自転車のマナーアップ研修会も行いました。



### 【自転車安全利用五則】

- ①車道が原則、左側を通行  
歩道は例外、歩行者を優先
- ②交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- ③夜間はライトを点灯
- ④飲酒運転は禁止
- ⑤ヘルメットを着用

**知って守ろう!!**

# 令和5年度事業一覧

- 湘南工科大学社会貢献活動（学生の実習受入れ）
- 辻堂朝市
- 市民センター開催
- 毎月第1回水曜市
- 学研中心カラオケ藤沢SS1開催
- 毎月第3水曜市
- みんなで美化キャンペーン
- 辻堂さんぽ
- 辻堂ミニさんぽ
- 辻堂ストリートギャラリートプロジェクト
- 湘南工科大学授業参加協力
- 辻堂電算館
- 辻堂の海を守るプロジェクト
- 八松小学校歴史学習への協力
- 白浜養護学校 展示・即売会協力
- 世代間交流事業
- 障がいの理解・防災を通して考える～サステイナブルなまちの未来をひらく～夏休み特別福祉企画3部作
- 防災講演会
- 津波避難体験
- 個別避難計画モデル事業
- 子どもへの防災教育事業
- 子どもへの見守り事業
- 公共交通導入計画（月形田中）
- 辻堂地区交通事故マップの作成・配布
- 藤沢厚木線の整備についての意見交換会
- 春・秋の交通安全運動街頭キャンペーン参加
- 自転車マナーアップ研修会

おたが、字を入れました。位置はいいね



横に字を入れました